

2026年3月31日

活動レポート No.7

— 学習支援の現場における食支援の取り組み —



【学習支援 × 食支援の仕組み】

学習支援の現場



食支援（食品提供・環境整備）



子どもたちの学びと生活を支援

当財団では、子どもたちの学びを支える環境づくりの一環として、学習支援の現場における食支援に取り組んでいます。本取り組みは、学習支援の現場でのご縁をきっかけに、運営団体からの相談を受けて開始したものであり、現場のニーズに応じた支援として実施しています。



■ 長期休暇における食支援

【夏休み】

約 21,600 点

多様な食品

量を重視

【冬休み】

約 2,300 点

季節性(餅など)

内容を厳選

夏休み期間には、レトルトごはん、パスタ、カレー、袋麺、お菓子等、約 21,600 点の食品を提供しました。冬休み期間には、鏡餅や切り餅、乾麺(そば)等、季節性を取り入れた食品を中心に、約 2,300 点を提供しました。

■ 現場に合わせた柔軟な支援

【現場の違い】

- ・調理が可能な教室
- ・飲食に制約のある公共施設
- ・持ち帰りを前提とした対応

それぞれの環境に応じた食品と運用で対応

当財団は、こうした現場の状況に寄り添いながら、無理のない形で支援を行っています。

■ 取り組みを通じて得られた知見

夏休み・冬休みの取り組みを通じて、支援内容や規模についての知見を蓄積してきました。今後は、各季節や現場ニーズを踏まえながら、適切な規模での継続的な支援体制の構築を検討しています。

■ 今後に向けて

本取り組みは、特定の団体に限定したのではなく、現場のニーズに応じて実施している支援です。今後は、他の学習支援団体においても、状況やニーズを踏まえながら、支援の可能性を検討してまいります。また、本取り組みは、他地域への展開も視野に入れたモデルとして、より多くの子どもたちへ支援を届けていくことを目指しています。
